

31日間で小冊子を書いて現金化

31日間で小冊子を書いて現金化トレーニング
6日目 - P. A. G. E. S. システムを用いた小冊子の書き方 -
Part 1

重要なお知らせ

あなたがこのトレーニングコースを自己利用する以外、あなたにはいかなる権利もありません。あなたはこのレポートを無料配布・有償販売・会員制倶楽部への追加など一切できません。ありがとうございました。

あなたが31日間で小冊子を書いて現金化トレーニングを CONTENTS LAB メンバーエリア以外からダウンロードした場合、それは海賊版です。

31日間で小冊子を書いて現金化トレーニングは小林正寿とbrainers 有限会社の著作物として全世界的に保護された出版物です。

ALL RIGHTS RESERVED. 電子的、機械的、カメラによる複写、読み上げでの録音などいかなる形式をもってこのレポートの一部または全部を配布することは禁止します。レポートのコンテンツの引用をご希望の場合は書面で著者に対して許諾を得てください。

免責事項／法律に関する告示: この書籍でテーマに取り上げられた情報は出版された日付の時点での著者の見解です。著者は状況の変化に応じて、このレポートで表示した見解とは異なる新しい見解を表現する権利を有します。このレポートのテーマとして取り上げた事項に関し、適切且つ信頼に足る情報を提供することを意図して作成されていますが、いかなる誤り・不正確・不作為に対しても著者・出版元・アフィリエイト・リセラーは一切責任を負うものではありません。また、法律、その他の分野に関する専門的なアドバイスを与える事を保証するものではありません。著者・出版元・アフィリエイトパートナーは利益や特定の目的に対する適合性を保証するものではありません。このレポートの使用・適用によって生じたいかなる結果に対しても責任を負うものではありません。もし、法律、その他の分野で助けが必要な場合はその分野の専門家からサービスの提供を受けることを強く要請します。

収益に関する免責事項: 本製品はその可能性を正確に示すよう、あらゆる努力がなされています。このウェブサイトが提供する本書のテクニックとアイデアを利用して収益を上げることについては、何の保証もありません。本書またはページ内の事例は、収益を約束したり、保証したりするものではありません。収益の可能性は、本書、アイデア、およびテクニックに含まれる情報を使用する各個人に完全に依存するものです。お金持ちになれる仕組みであると明示するものではありません。実際の収益、あるいは実際の結果の例を生み出す権利は、要求に応じて確認することができます。サイトで主張している結果の獲得における成功のレベルは、記載したアイデアやテクニックに費やした時間、あなたの財政状態、知識、およびさまざまなスキルによって異なってきます。これらの要因は個人によって異なるため、成功、つまり収益のレベルは保証できるものではありません。またあなたのいかなる行為についても責任を負うものではありません。本書およびウェブサイトの資料には、将来的な出来事を期待させる、もしくは予想させる前向きな文章を含んだ情報が提示されている場合があります。これらの文章は、歴史的事実もしくは現在の事実と厳密に関連していないという事実によって確認することができます。これらについては、予想する、予測する、期待する、予想する、意図する、予定する、信じるなどの言葉やその他、潜在的収益または財務実績の説明に関連した類似する言葉を使用しています。本章内もしくは我々の販売資料に記載したありとあらゆる前向きな文章は、収益の可能性についての意見を明らかにすることを意図したものです。実際の結果の判断においては多くの要因が重要であり、我々もしくは他の誰かと類似した結果を得られることには何の保証もありません。我々の資料に記載されたアイデアやテクニックからどのような結果が得られるかについては、何ら保証をするものでもありません。

目次

目次	3
P.A.G.E.S. システムを用いた小冊子の書き方 - PART 1	4

P.A.G.E.S. システムを用いた小冊子の書き方 - Part 1

では、はじめましょう！

前回はあなたの小冊子のための売れるタイトル考案法を学んでいただきました。これから**3**レッスンをかけ迅速そして簡単に小冊子を作成することができるわたしの**P.A.G.E.S.**システムを学んでいただきます。

これから学んでいただくシステムは“**P.A.G.E.S.**システム”と呼んでいます。この名前の由来は各文字が**5**ステップそれぞれのステップ名から来ています：

P – プラン (**PLAN**) - アイディアをプレインストーミングしながらプランを練る。

A – アレンジ (**ARRANGE**) - あなたのアイディアを連続性またはシステムチックにアレンジする。

G – グロウ (**GROW**) - “空欄を埋める”方法でコンテンツを拡張する。

E – エクストラクト (**EXTRACT**) - 書きながら宣伝告知に使うためのブレットポイントを抽出する。

S – スムーズ (**SMOOTH**) - 小冊子に手を入れて最後のブラッシュアップをする。

では、ステップ**1**からはじめましょう・・・

ステップ #1: アイディアをブレインストーミングしながらプランを練る。 - 現時点においてあなたは既に小冊子のコンテンツを書くためのトピックを選択しているはずです。

では、どこから手を付ければ良いのでしょうか？シンプルにあなたの小冊子のコンテンツとして使うアイディアをブレインストーミングすることからはじめてください。

わたしが発見した最も簡単なステップ #1 の実践方法：

あなたの小冊子の中でシェアしたい事柄をすべてリストアップしてください。

文字通りあなたの小冊子に書きたい事柄をすべて書き出してください。ノートでもコンピューター上のテキストエディターでもとにかくすべてを書き出してください。

文書の様式など気にすることなくあなたのトピックに関連した事柄をすべて書き出してください。

ステップ #1 においてあなたがすべきことはあなたの考えをすべて書き出すことです。

アイディアとアイディアの連続性など一切考える必要はありません。すべて断片的で構わないので考えをすべて書き出してください。

下記項目を参考にしてできるだけ多くを書き出してください・・・

- アイディア

- ノート
- リスト
- 質問
- 重要事項
- あなたの体験
- 考え
- すべき事柄
- チェックリスト
- 詳細
- ステップ
- 真実
- 理由
- 比較
- コントラスト（対照）
- 統計値
- 引用
- ストーリー

次に、あなたがこれまで小冊子のアイデアを思いつくために絶対に採用すべき非常に貴重なブレインストーミングについてお話しします。

これは英語圏のマーケターが採用している“アルファベット化”と呼ばれるものです。日本語に直接的に利用することはできませんが参考のためシェアしておきます。

アルファベットの“**A**”という文字からはじめます。“**A**”からスタートするあなたの小冊子のトピックに関連するイベント・場所・人・アイテム・動詞・アイデアなどを考えてください。

“A”からはじめて“Z”まで順番に連想ゲームのようにブレインストーミングを行います。

事例: あなたがオーランドへの旅行に関連するトピックで小冊子を書いているなら、例えば・・・

- A = 空港 (Airports)
- B = ビジネストラベル (Business travel)
- C = ホテル選び (Choosing hotels)
- D = デイナー (Dining)
- E = エプコット (Epcot)
- F = 無料チケット (Free tickets)
- G = ゴルフ (Golfing)

注意: エプコット (Epcot) は、アメリカ合衆国フロリダ州オーランドのウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートにある4つのディズニーパークの内の1つである。

Wikipedia

このような手法で“P.A.G.E.S.システム”というネーミングを行いました。このメソッドを活用することであなた独自の名前を生み出すことで差別化することができます。

英語でのメソッドですが、これをヒントに日本語にも応用してみてください。

では、ステップ2へ進みましょう・・・

ステップ #2: あなたのアイデアを連続性またはシステムチックにアレンジする。

あなたがステップ #1 ですべてのアイデアを書き出したら次はそれらをアレンジするステップですが、アレンジするには2つの方法があります。

“オーガナイズ”して文章としての意味が通るようにするには“連続的”または“システムチック”の2つの方法があります。

連続性: あなたのアイデアが文章として意味をなすようにアイデアの連続性や時系列にアレンジしてください。あなたの小冊子において何が最初に来て次は何がという具合に小冊子のアウトラインを書いてください。

事例: ステップ 1 は・・・ステップ 2 は・・・ステップ 3 は・・・

ヒント: あなたがステップを採用する場合、ステップ数は1桁に留めることが重要です。

ステップ数が10以上になると小冊子の読者は過剰な労力が必要とされると認知します。つまり、わかりやすくするために導入したステップが意味をなさないことになってしまうからです。

システムチック: それぞれのアイデアを論理的関係性に基づきまとめてください。

事例 #1: あなたのタイトルが“今すぐ結婚資金を節約する5つのカギ”として、これがあなたのアウトラインの基本的なフレームワークは5つのカギということになります。

1つ1つのカギ毎に章としてアイデアを論理的関係性を意識しながら振り分けてゆきます。

事例 #2: もしあなたが多くの異なるアイデアを持っている場合、“リスト構築 101 のヒント” というようなケースではそれぞれのアイデアを何らかの関係性に基づいてグループ分けしそれぞれのグループを章とすることができます。

リスト構築の全プロセスをリストアップしてそれぞれのプロセスごとに関連するアイデアを振り分けることができます。

ノート: 長年の経験から発見したとても重要なアイデアアレンジ法を紹介したいと思います。

あなたの小冊子に掲載するコンテンツすべてを読者にとってとてもクオリティの高いものにしたいと願っているでしょう。

しかし、現実を直視していただきたいのです・・・コンテンツのクオリティにはどうしても強弱が発生しています。

あなたの小冊子の中でシェアする情報によってはこれまで誰も知らなかった飛び切りの情報もあればごく少数の人しか知らない情報もあるでしょう。

あなたの小冊子のコンテンツすべてを誰も知らない情報にすることは不可能だということを理解してください。

あなたの小冊子のコンテンツで最も価値が高いと思われる情報2つを選択して小冊子の最初と最後に配置するようにしてください。（論理的関連性に基づきできるだけ最初と最後にプレミアムコンテンツを配置することを意識してください。）

この最初と最後へのプレミアムコンテンツ配置により読者があなたの小冊子を開いてすぐに感嘆し、さらに小冊子を読み終わるとき再度感嘆することができます。

結果として、あなたの小冊子の読者はあなたの小冊子に対して満足と高い評価を下すことになります。

あなたのコンテンツの中に何等か残りのコンテンツに比較して“弱い”ものはできる限り小冊子の真ん中辺りに配置してください。

これは何も“弱い”コンテンツを隠すという意味ではなく読者に与えるインパクトを最小化するという意味です。

今日の宿題: このレッスンで学んだアイディアブレインストーミングを完了してください。

次回は P.A.G.E.S. システムの次の2つのステップをまなんでいただきます。